

**塗装仕様書 <塗替え>**  
**弱溶剤厚膜形変性エポキシ/弱溶剤下上兼用(ウレタン)仕様**  
**管理番号 N0041**

**適用部位** 配管・架台、タンク外面、タンク天蓋、屋根(金属)、亜鉛めっき面、プラント機器類、建築鉄骨、鉄塔、鋼構造物  
**特徴** 全般  
**高耐候性、高防錆性、省工程、厚膜形、耐薬品性、鉛クロムフリー、グリーン購入法**

工 程	塗 料 名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23 )	希釈剤	希 釈 率 (%)	塗 装 方 法	膜厚/回
素 地 調 整	電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部はISO St3まで除錆する。活膜部の表面を清掃ケレンする。						
補 修 塗 装	ハイポン 20 フайн HB (弱溶剤厚膜形変性エポキシ樹脂 下塗り塗料)	(0.29)	16時間以上 10日以内	塗料用シナ-A	(0~5)	はけ、ローラー	(100 μ m)
		(0.43)				エアレス スプレー	
第 1 層	ハイポン 20 フайн HB (弱溶剤厚膜形変性エポキシ樹脂 下塗り塗料)	0.29	16時間以上 10日以内	塗料用シナ-A	0~5	はけ、ローラー	100 μ m
		0.43				エアレス スプレー	
第 2 層	ハイポンダブルガードU (弱溶剤形エポキシ・ウレタン 変性樹脂系下上兼用塗料)	0.15	16時間以上 1ヶ月以内	塗料用シナ-A	0~5	はけ、ローラー	50 μ m
		0.19				エアレス スプレー	

・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれ多少の幅を生じことがあります。

・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

塗 料 名	容 量	混 合 比	ポットライフ
ハイポン 20 フайн HB	20kg Set(塗料液(主剤):硬化剤=18kg:2kg)	9:1	5時間(23 )
ハイポンダブルガードU	16kg Set(塗料液:硬化剤=13.6kg:2.4kg) 4kg Set(塗料液:硬化剤=3.4kg:0.6kg)	85:15	6時間(23 )

・2液形塗料は、塗料液と硬化剤の混合割合を必ず守り、ポットライフ(可使時間)以内に使用してください(硬化剤の過不足や、ポットライフ(可使時間)以降の使用は、硬化性、乾燥性、低汚染性能、色相変化が起こるなど、塗膜性能や仕上がり外観に悪影響を及ぼします)。

## 施工上の要点・注意事項

- ・旧塗膜が正常な箇所はサンドペーパー、ワイヤーブラシ、ダスターはけ等で旧塗膜に発生しているチョーキング及び油脂、塩類、その他の付着物を除去清掃してください。
- ・劣化した塗膜上への塗装は、早期はく離・早期発錆の原因になりますので素地調整を充分行なってください。
- ・5℃以下の気温が連続する場合、及び湿度85%以上の場合は施工しないでください。
- ・補修塗装は原則としてはけ塗りとし、素地の露出した部分及び膜厚不足になりやすい部分に素地調整後すみやかに塗装してください。
- ・使用塗料の詳細説明は各々の製品使用説明書を参照ください。

### 【補修塗装(ハイポン20ファインHB)】

- ・2液弱溶剤反応形樹脂を使用しているため、希釈時、シンナーが浮いた状態になりますが、かくはんすると問題なく混ざります。
- ・希釈し過ぎると所定の膜厚が得られなくなるおそれがありますので、規定の希釈率を守ってください。
- ・中毛ローラーで塗装すると仕上がり外観が悪くなることがあります。その際は短毛ローラーで塗装してください。
- ・乾燥は低温時において著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5℃以下の気温が連続する場合、施工しないでください。
- ・強溶剤エポキシ樹脂塗料(ピュアエポキシ・変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。
- ・暴露されると黄変することがありますが、付着性能や塗膜性能には影響ありません。
- ・硬化剤が皮膚に付着した場合には直ちに水またはせっけん水でよく洗ってください。
- ・記載内容については予告なく変更することがあります。

### 【第2層(ハイポンダブルガードⅡ)】

- ・硬化剤は湿気で変質しやすいので密栓して貯蔵してください。
- ・さびの発生を抑制するために、下地調整を十分に行ってください。
- ・補修塗装で下塗りを塗り重ねる部分は入念な面荒しを行ってください。
- ・塗料用シンナーAI以外(例えばウレタン用シンナー等)での希釈は絶対に避けてください。
- ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しない場合がありますので、標準希釈

量を守ってください。

- ・水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ・エアスプレーの場合は、はけ・ローラー・エアレス塗装に比べ、光沢が低下する傾向にあります。
- ・標準膜厚より極端に厚い場合や、薄い場合には種々の塗膜欠陥を生じる事がありますので規定の使用量を厳守してください(さび・はく離等)。
- ・立体駐車場床面、木部などの部材への塗装は避けてください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- ・色相によっては隠蔽が劣るもののがございますので、ご相談ください。  
【仕様全般】
- ・洗い溶剤はラッカーシンナーを使用してください。
- ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。